

特別支援学級の沿革

昭和41年、小グループ、個別指導が必要な生徒の教育のために開級。草の実学級として設立された。これは、壺井栄の同名小説より名付けられました。

その後、8組と改名されましたが、平成24年度学級増に伴い、名称を「10組」としました。

特別支援学級の名称

学校教育目標を受け、ここの障害による困難を克服し、心豊かで主体的に学ぶ生徒の育成を目指して、次の学級目標を設定する。

- 1 基本的な生活習慣を確立する。
- 2 日常に必要な学力、体力、技能を身につける。
- 3 豊かな情操や創造性、社会性をはぐくむ。
- 4 学び合い、心を伝え合う集団をつくる。

特別支援学級で大切にしていること

〈自ら学び・考え・行動する人を育てます〉

- 1 生徒一人ひとりの発達や特性を把握し、個々にあった課題を見つけ、目標を設定していきます。
- 2 教科学習に重点を置き、個人の力の差に対応できるようグループでの指導をしていきます。
- 3 個別指導計画をもとに個別の課題を認識し、自ら学習に向かう意識をもたせます。

〈お互いを尊重し、思いやりと仲間意識のある人を育てます〉

- 1 相手を認め、お互いが励まし合えるような集団作りをしていきます。
- 2 通常の学級や地域との交流に重点を置き、大きな集団への参加を目標にしていきます。
- 3 豊かな人間関係が作れるように思いやりや協調性を育て、人の気持ちを理解できるような場面を設定していきます。

〈社会の一員として、自立し規範意識のある人を育てます〉

- 1 あいさつや身だしなみ、身辺整理など生活習慣の基礎を身につけさせます。
- 2 正しいことが分かるように判断する力を身につけさせます。
- 3 職場体験の場を活用し、社会を実際に体験する機会をもたせます。
- 4 進路に関心を深め、将来に向けて自己の特性を知り、正しい勤労観、職業観を育て、自主的に選択できるようにします。

〈自己を大切にし、想像力豊かな人を育てます〉

- 1 体験学習や校外学習を通して、いろいろな物に触れ、生活体験を豊かにしていきます。
- 2 音楽、美術、作業などにより豊かな心を養い、健康的な生活が送れる体力を行い、自分に自信を持たせます。

学級の規模

学級数	3学級	生徒数	1年	2年	3年	計
担任	4人	男子	6名	7名	4名	17名
講師	4人	女子	2名	2名	1名	5名
介助員	3人	計	8名	9名	5名	22名

令和2年5月1日現在

交流について

- 1 通年での交流授業を実施し、年度初めに学年集会で交流学級の発表と紹介をします。
- 2 朝の学級活動の時間は毎日交流学級で参加し、その後10組で再度朝の会を行い、連絡を確認します。
- 3 教科の授業への参加は生徒の実態に応じて、教科担当や保護者と話し合い、参加を決めていきます。総合的な学習の時間はなるべく参加するようにしています。また、選択教科の実技の教科についても学年で参加しています。
- 4 学校行事については、交流学級での参加を基本として、担任や介助員が支援を行います。

行事

令和元年度の主な学校・学級行事

月	学校行事
4月	始業式、入学式、新入生歓迎会、保護者会、離任式、自転車講習会 調布市防災教育の日、部活動説明会、校外学習(10組)、校外学習(1年)
5月	生徒総会、PTA総会、体育祭
6月	あいさつ運動、身体体力テスト、全校保護者会、期末テスト、多摩特研球技大会(10組)
7月	宿泊学習(10組)、学校公開、道徳授業地区公開講座、セーフティー教室 修学旅行保護者説明会、大掃除、終業式、三者面談、補習教室、水泳教室
8月	始業式
9月	修学旅行(3年)、職場体験(2年)、古典芸能鑑賞教室(1年)、生徒会役員選挙 学校公開、学校説明会、学習強化週間
10月	多摩特研マラソン大会(10組)、学校公開、合唱祭、進路説明会(3年)
11月	開校70周年記念式典、進路ガイダンス(3年)、連合音楽会、あいさつ運動、期末テスト、
12月	進路ガイダンス、移動教室保護者説明会(1年)、大掃除、終業式 調布市特別支援学級合同学習発表会(10組)
1月	始業式、新入生保護者説明会、移動教室(1年)、新入生児童説明会、音楽鑑賞教室(2年)
2月	校外学習(2年)、学年末テスト、校外学習(10組)
3月	作品展示会、保護者会、体験入学(10組)、保護者会、卒業生を送る会、卒業式、修了式

